

小節	練習曲と留意点 (練習順不同)	備考
1. 遠くへ行きたい		男声合唱フェス(9/28)
1小節	出だしのアクセントをポーンとはじいて	T1・T2
11～26小節	全体にpだけど発音をハッキリ。特に“とーくへ”が聞こえない	全
14小節	“…みたいー” ソ井・シ・ラの“た(シ)”の音程に注意	Br
21～22小節	T2パートが旋律。音量はそのままでことばをハッキリ	T2
27～34小節	①26小節までのpからmfに切り替わるので音量をタップリと ②29小節からのcresc.に注意。最後の34小節はf(フォルテ)まで。 “…ひとりたびー”の“た”で最大、“びー”は少し弱めて ③31小節の“ゆめはるかー”の“は”が平板にならないように	全
39～42小節	“どーこか…たーい”はpのままなので発音をハッキリと	T2・Br
3. 君は今でも		市芸術祭(6/30)
全般	初めて聞くお客さんが分かるようことばをしつこいほどハッキリとていねいに発音すること(子音を立てて) “きみは”“ずっと”“なぜ”“きっと”“メロディ”“にじ”など	全
5～8小節	出だしのmfをシッカリ目に。6～8小節はそのまま伸ばして	全(特にT1)
8・16・53・61小節	“きみはいまでも…”の旋律をシッカリと。mpを気にしすぎるとことばが聞きにくくなりがち。出だしも合わせて	T1・T2
10～14小節	cresc.が二つ。シッカリ盛り上がって(55～59小節も同じ)	全(特にT1・T2)
34～39& 79～84小節	riten.→meno mosso(さらにユックリ)→accel.→a tempo と速さが目まぐるしく変わる。39と84のa tempoに乗り遅れないこと	全
36・81小節	“かわらずー”“ながれてー”はブツ切れにならないように	T1
39～40小節	“あいしあーってー”の“あ”は口をタテに開けて	全
60～61小節	“ゆめの一ようにー”の“よ”は“いYo”と発音	全
75～76小節	“よみがえるー”のり注意。“Ruー”は口を細めて発音	T1・T2
84～85小節	“だいじなものー”は元の速さ(a tempo)でことばをハッキリと	全
89～89小節	“きみはいまでもー”の出だしを合わせて	T1・T2
92～94小節	“あおいうみをー”はff(フォルテッシモ)のつもりで。95小節からmf	全
4. 雨後		市芸術祭(6/30)
全体	ことばも大事だが、“文字”一つひとつの発音をていねいに(特に、Soliの部分：17～26(T2・Br・Bs)、29～31(T1)小節)	全
32小節	“ひとつ…”の“と”の8分音符の長さを保って	T1
2. アカシヤの径		男声合唱フェス(9/28)
23～30小節	“Ah——”は28と30小節の臨時記号に注意	T2・Br
48～50小節	“しあわせの”と“はなはー”の発音をハッキリ。特に、HaとWa	全
50～52小節	“あめにーうたれてー”の ①“め(M子音)”“う(唇を真ん中に集めて)の発音に注意 ②“てー”が短くならないように(“ちっ”までノブレスで)	全
55～58小節	前奏と同じようにシッカリと。dim.は57小節の後ぐらいから	T1

*歌い方は歌い込みとともに改善されるものなので最新のテキストを優先してください。

T1：市村

※以下は、練習に同席された藍原恵子先生のご指導内容です。

1. ことばをハッキリとていねいに発音している事例として、能の「謡曲」がある。
「おのおのがたー」のように唇・舌・あごを積極的に使うとよいと思う。
2. ハミングが良く響いている。その調子で。